

Assumption

Kindergarten
Primary School
Junior & Senior High School

聖母被昇天学院 学院報



No.17

2012.12.7

2012



幼稚園

*Assumption
Kindergarten*

待ちに待つた運動会！
青空の下で、子どもたち

した『一生懸命』が伝わってきて、会場をおおいに盛り上げてくれました。

年中児・年少児・満3歳児全員による、玉入れ「それいけジャンピング！」では、縦割り保育のチームワークを最

大陸に生かしてかんはりました
最後まで一生懸命、一人ひとりが力
を出し切った運動会。ごほうびでもら

つたメダルは、ロンドンオリンピックのメダル以上に輝いていたことでしょう。

転んでも起き上がり、靴が脱げても走り続けた子どもたち。その姿から

は、競技・演技を通して、最高学年らしさを身に纏うことができました。とくに年長児は、競技・演技を通じて、最高学年らしさを身に纏うことができました。

い、たくましく頬もしいお兄さん。お姉さんになつたことがわかります。一つひとつ競技を終えた時の子

どもたちの
顔は、最後ま
でやり遂げ

た達成感や満足感、喜び

ていいはい
この経験を
糧に心も体

もくすく
と成長して
くれること
でしょう。



みんなで玉入れ
「それいけジャンピング！」



かっこいい、年長児の
「YOSAKOIソーラン」



操”など、さまざまな演技目で大活躍。



どもたちの
顔は、最後までやり遂げた達成感や満足感、喜びでいっぱい。この経験を糧に心も体もすくすくと成長してくれるこ^トでしよう。



みんなで玉入れ
「それいけジャンピング！」



かっこいい、年長児の
「YOSAKOIソーラン」

幼稚園 12~3月行事予定

12月5日(水)	年少・満3歳児クリスマス会	1月11日(金)	おもちつき	3月1日(金)	謝恩会
12月12日(水)	年中クリスマス会	1月29日(火)	年長雪そり遊び	3月4日(月)	年中お楽しみ会
12月15日(土)	年長クリスマス会	2月8日(金)	なかよしコンサート	3月16日(土)	卒園式
12月24日(月・祝)	クリスマスミサ (学院行事)	2月22日(金)	お別れ遠足		

小学校

Assumption Primary School

いろいろな体験を通して
心も体も大きく成長



夏休み登校でのクッキング。 みんなで作るとおいしいな

夏休み登校(全学年希望者)
8月1日～10日、20日～23日

いっぱい、できだね！

学年はクッキングやおもしろ実験、高
学年は熱伝導の実験を楽しみました。

自由研究「トライトライ」では、工作
や実験、調べ学習など一人ひとりが
“やりたいこと”をすべて自分で準備、

企画、実行。課外学習ではそろばんや
イタリア語、手話などに挑戦し、社会
見学で大阪能楽会館や国立民族博物
館、地域のお店など、普段の学習では
復習に取り組み、お楽しみ学習会で
は、低学年は理科実験サーキット、中

夏休みに学校を開校し、学習会や自
由学習、課外講座、社会見学、スイミン
グなどの学習や楽しいプログラムを
実施。学習会では学年ごとに1学期の
復習に取り組み、お楽しみ学習会で
は、低学年は理科実験サーキット、中

見学できない場所に行つて学びを広
げました。



力を合わせ、日々の
練習の成果を発揮



小学校 12～3月行事予定

12月15日(土)	転入試験	1月19日(土)	入学相談会(転入)	3月2日(土)	わくわくサタデー(送別会・謝恩会)
12月19日(水)	全校奉仕	1月26日(土)	年中児対象体験入学	3月8日(金)	創立者感謝と祈りの集い
12月20日(木)	クリスマス礼拝	2月2日(土)	転入試験	3月15日(金)	卒業式
12月24日(月・祝)	クリスマスミサ (学院行事)	2月23日(土)	入学説明会		

小学校 12～3月行事予定

12月15日(土) 転入試験

1月19日(土) 入学相談会(転入)

3月2日(土)

わくわくサタデー
(送別会・謝恩会)

12月19日(水) 全校奉仕

1月26日(土) 年中児対象体験入学

3月8日(金)

創立者感謝と祈りの集い

12月20日(木) クリスマス礼拝

2月2日(土) 転入試験

3月15日(金)

卒業式

12月24日(月・祝) クリスマスミサ
(学院行事)

2月23日(土) 入学説明会

5・6年生が暑い中さまざまな係で
がんばり、高学年として芽生えた自
覚が、演技や競技により一層の花を
添えました。

運動会
9月25日(火)
どの競技もすばらしい
チームワークで挑戦！

修学旅行
10月4日(木)～6日(土)
友だちと楽しく過ごし
平和を祈った3日間

予定していた23日の日曜日が雨の
ため、平日(25日)の開催となり、来て
いただけなかつた保護者もいました
が、子どもたちのすばらしいチームワ
ークで演技や競技を終えることがで
きました。

児童の一人が運動会終了後に書い
た作文で「日が照って熱い砂の上で私
たちは、はだしで組体操をやっていま
す。痛いけれど、歯を食いしばりがん
ばった分だけ拍手がもらえ、もつとが
んばれると思いました」と、みんなの気
持ちを代弁。それぞれが家で何度も練
習し、こわかった組体操の技を成功さ
せた喜びを存分に味わったようです。

長崎原爆資料館や浦上天主堂を訪
ね、平和公園にある平和祈念像の前
では千羽鶴に願いを込めてお祈りし
た子どもたち。聖コルベ記念館でお聴
きしたコルベ神父様についてのお話
から、隣人愛の意味を考えるなど、戦
争と平和、日本でのキリスト教信徒の
歴史など多くのことを学びました。

また、グループに分かれてのフィー
ルドワークでは、市電に乗つて長崎の
町を探索し、長崎名物も堪能。自分た
ちで計画を立てて訪問した

所で人々の温
かさに触れな
がら、楽しい
思い出をたく
さんつくりま
した。

中学校 高等学校

Assumption
Junior & Senior High School

一人ひとりのがんばりが花開き、 最高の思い出を刻む



「だれが受け取ってくれるかな?」「手にした人はどんなに驚くかな?」「日本中の人々とつながりたいな」...さまざまな思いを風船に込め、青空へ飛ばしました。

学院祭
9月14日(金)・15日(土)

学院祭の「風船とばし」で新しい友だちができた!

生徒一人ひとりの心に深く残ったことは、なんと言っても閉会式で行われた「風船とばし」です。

紙船は、環境に配慮した100%

生徒会執行部の主催により学院祭が開催されました。今年は内容を大きく見直し、1日目に各学年の舞台発表を、2日目は一般公開で学年・教科課外活動・有志団体による発表を行いました。

数日後、この風船を拾ってくれた、



高校2年の高柳涼杏さんが、「私たちが拓く未来の国連へ繋がりをとり戻すために」という題で出場し、大阪府最優秀賞に選ばされました。

高柳涼杏さんが、「私たちが拓く未来の国連へ繋がりをとり戻すために」という題で出場し、大阪府最優秀賞に選ばされました。高柳さんは、アサンブリジョン国際交流プログラムでフィリピンや大阪市の釜ヶ崎を訪れて両国の人間関係のあり方の違いに気づいた経験を踏まえ、「より多くの国を知ることで(世界を見る)私のものさしを増やし、国際理解について考えていく」と力強く述べました。

10月には、大阪府代表として東京で行われた中央大会に出場しました。高柳涼杏さんは、大阪府中学校英語弁論大会大阪府大会で優勝した中越采子さんと並んで、読売新聞が、読売新聞大阪本社で行われたスピーチコンテスト中学生部門で入賞しました。同大会には22校31人が参加。本校からは、学校で行われたスピーチコンテスト中学生部門で入賞した中越采子さんと並んで、読売新聞大阪本社で行われたスピーチコンテスト中学生部門で入賞した中越采子さんと一緒に、中越采子さんは、学校代表として出場しました。結果、3年連続出場の中越采子さんは念願の優勝を果たし、高柳さんもみごと3位に入賞しました。

中越さんは大阪府代表として11月に行われる東京大会中部地区予選に



10月2日(火)、「高円宮杯第64回全国中学校英語弁論大会大阪府大会」が、読売新聞大阪本社で行われました。同大会には22校31人が参加。本校からは、学校で行われたスピーチコンテスト中学生部門で入賞した中越采子さんと一緒に、中越采子さんは、学校代表として出場しました。結果、3年連続出場の中越采子さんは念願の優勝を果たし、高柳さんもみごと3位に入賞しました。

中越さんは大阪府代表として11月に行われる東京大会中部地区予選に

中学校 高等学校 12~3月行事予定

12月8日(土)	入試個別相談会(午前)	1月19日(土)～21日(月)	中学校入学試験A/B/C日程	2月18日(月)	予餌会
12月21日(金)	クリスマス折りの集い(午前)	1月21日(月)～25日(金)	高校2年修学旅行(北海道)	2月21日(木)	第47回高等学校卒業式
12月24日(月・祝)	クリスマスミサ (学院行事)	2月9日(土)	高等学校入学試験	3月19日(火)	中学校卒業式
12月26日(水)	入試直前相談会(午前)				

聖母被昇天学院 今昔物語

No.2

校舎編

本学院は2014年度に創立60周年を迎えます。

このコーナーではその記念すべきタイミングにあわせ、
学院のさまざまな特徴を歴史とともに振り返っていきます。

幼稚園



1953年竣工の園舎

赤い屋根と可愛い塔がある園舎ができました。学院のすべてはここから始まっています。聖堂も修道院もここにあり、一番最初の小学校の授業もこの園舎で始まりました。

小学校



1955年竣工の校舎

1年間幼稚園で間借りしていた小学校の授業は、真新しい校舎でおこなわれるようになりました。竣工直後のローザ・ビルの写真です。桜の木も芝生もまだ植わっていません。

中学校高等学校



1963年竣工の校舎

中学校は1960年に設立されましたが3年間は小学校の校舎で授業がおこなわれました。高等学校が設立されたこの年に今の中高校舎が竣工しました。音楽室や調理室、家庭科室などの特別教室は小学校から高校までの共同で使われました。



1970年新園舎の建設

学院の南側の新しい場所に建設中の現園舎の様子が写った航空写真です。当時の学院の様子もわかります。



1955年の小学校校舎の様子

植えられたばかりの桜の若木や斜面の苗木が初々しい、創立間もない頃の小学校の様子です。砂利敷きだったグリーンロードにエプロン姿の小学生がいます。



～現在/2012年

設備の整った園舎で、たくさんのおともだちが楽しく過ごしています。園舎の屋根の赤が、以前の園舎の屋根の色を思い起させます。



～現在/2012年

美しく整えられた緑が白亜の校舎に映えています。卒業生が懐かしむローザビルの姿です。



1972年中高校舎の増築

現在の職員室や講堂がある棟が増築されました。特別教室も増え、小学生と共に用、ということ少なくなりました。



～現在/2012年

現在は北門が正面になっています。通用口も美しく整備され、エレベーターができました。耐震補強もされ、北校舎とも各階で繋がりました。

病に苦しむ人を助けたい 薬剤師として新薬開発に取り組む



植田千絵さん(41期生)
大阪薬科大学・薬学部卒業
株式会社リニカル勤務

学校でいたい愛を
社会に還元したい

幼稚園から聖母被昇天学院に
通い、素敵な仲間に出会えました。
先生方は一人ひとりの名前を
知つておられ、家族のような安心
感に包まれた14年間。ここで人の
温かみに触れながら、世界中に恵
まれない人や病で苦しむ人がいる
ことを知り、将来、困っている方々
の役に立ちたいと思うようになりました。

そのためには「医療に携わる仕
事を！」と、理系科目が好きだっ
た私は薬剤師になることを決意。
でも、大学選びは将来を決める分
かれ道。何となく適当に決めな
いで自分の足でいろいろな大学
を訪問し、イメージを湧かせて決
めたのが大阪薬科大学でした。森

林に囲まれたキャンパス、のんび
りとした雰囲気はどこか聖母被
昇天学院に似ていて、居心地よく
感じられたのです。

「この大学へ行きたい」と強く
思えば受験勉強のモチベーションはおのずと上ります。得意科
目は難しい問題にどんどん挑戦
し、苦手科目は簡単な問題から繰
り返し勉強していると解くこと
が楽しくなってきました。また、
高2、高3のアドバンスコースは
少人数だったので、完全に理解す
るまでていねいに教えていただき
ました。

部活(E.S.S.部)や学校行事も
全力でがんばると、家で勉強しな
ければという危機感が芽生えて
集中できたものです。

現在、私は新薬の有効性や安全
性を検証する会社に勤務し、未だ
しんでいる方々に、少しでも未来
への希望を与えるため、薬剤や病
態について研究しています。直

接、医療の現場に入ることはあり
ませんが、新薬開発という立場か
ら患者さんと向き合い、ともに
自然に人間関係の築き方を学べ、
勉強のストレスも解消できまし
ます。

幼い頃からの夢を実現！ 看護師として、箕面市立病院に勤務

看護師になるのが
『運命』だった？

私は箕面市立病院で産まれ、母
が出産する際、担当の看護師さん

に「女の子なら聖母被昇天学院が
お勧めですよ」と言わされたそう
です。その言葉どおり幼稚園に入園
した私の、小さい頃からの夢は看
護師。それを決定づけたのは、高
2で最愛の祖父を亡くした時で

した。病氣で苦しむ祖父に何もで
きない自分が悲しくて、絶対に看
護師になろうと誓ったのです。
受験勉強は大変ですが、自分の
ペースをつかめば集中できます。
私は典型的な夜型で、睡魔が襲う
と数分でも横になりました。参考

書や問題集は同じものを徹底的
に使用。苦手科目は基礎からやり
直し、得意科目はどんな問題も解
けるようにしました。少人数の学
校だから先生との距離が近く、わ
からない問題はすぐに聞けたの
もよかったです。

その傍らで部活(陸上部)や聖歌
隊、生徒会活動など、興味のあるこ
とには何でもチャレンジ。中高一緒
に活動することが多く、その中で
自然に人間関係の築き方を学べ、
勉強のストレスも解消できまし
ます。

井上直美さん(42期生)
神戸市看護大学卒業
箕面市立病院勤務



た。1日看護師体験やボランティ
ア活動も積極的に参加しました。

大好きだったのは高校の担任
・東山民子先生です。陸上部の顧

問だったのによく叱られました
が、悩んでいたら黙つて手をさし

のべてくださる心の温かい方で
した。今も落ち込むとメールをし
ますが「あなたなら大丈夫」とい
う言葉は大切に保存しています。

現在、私は手術室勤務なので病
棟看護はありませんが、患者さん

とは手術の前日に必ずお話をし

ます。「手術は怖いけれど、あなた
が来てくれて安心した」と言われ

ると、看護師になつてよかつたと心
から思います。

看護は「愛と真心と喜び」である
と感じ、学院で培った心が私の中
に生きていると実感しています。



国際教育
Assumption
International
Education

大きな前進につなげる



A

イングリッシュサマースクール
7月17日(火)～19日(木)

各国の遊びを通して
歴史や文化を学んだ

1・2年生が、英語学習・国際交流・
クッキングなどの楽しいプログラム
を体験しました。国際交流では、中學
校高等学校のネイティブスピーカー
の先生を含め、オーストラリア・カナ
ダ・ハンガリー・スロベニア・アメリカ
合衆国・コンゴなどの国出身のゲスト
ティーチャーの方々が英語で自国を

紹介。一緒にその国の遊びも楽しみな
がら、いろいろな国のように文化に
ついて学びました。

B イングリッシュサマーキャンプ
7月26日(木)～28日(土)

友だちの絆も深めた

英語漬けの3日間

4・5・6年生の希望者が、岡山県・
前島のカリヨンハウスでイギリス・ア
メリカ合衆国・オーストラリア出身の
ネイティブスピーカー5名と対話を通じ
て、英語をシャワーのように浴びながら、楽しく有意義な2泊3日
を過ごしました。

子どもたちは、オリエンテーション
や宝探しなどのアウトドアアクティビ
ティをはじめ、コミュニケーションゲー
ムなどに挑戦し、環境についてのポス
ターも作成。英語学習や環境学習、ネ
イチャーゲーム、クッキングなどのプ
ログラムを通して、英語力・コミュニケ
ーション力・チームワーク力を磨き、学
年を越えて絆を深め合いました。

ムなどに挑戦し、環境についてのポス
ターも作成。英語学習や環境学習、ネ
イチャーゲーム、クッキングなどのプ
ログラムを通して、英語力・コミュニケ
ーション力・チームワーク力を磨き、学
年を越えて絆を深め合いました。

C メキシコからの留学生と交流
9月11日(火)

留学生と一緒に
運動会の練習も！

メキシコのモレロス大学から留学
生4名が来校。学校ではちょうど運
動会に向けての全校練習をしていました
ので、一緒にフィナーレダンスを踊り

ました。

E フランス研修旅行
4月25日(水)～5月8日(火)

聖マリ・ウージエニーの
心にふれる研修旅行

6年生との交流の時間には、留学
生らがその昔、メキシコの中央部に栄
えたアステカの文明や国旗の由来な
どを英語で紹介してくださいました。

D アサンブション交流プログラム
4月11日(水)～24日(火)

フィリピン研修生を迎える
心からのおもてなし

今年もフィリピンの姉妹校から10
名の研修生が来日し、生徒や小学生
らと楽しく交流しました。

研修生たちは音楽(筝曲)・華道・書道
などの授業のほか、釜ヶ崎・広島・京都
への校外研修、狂言体験などを通じ
て、さまざまなことを学びました。ホ
ストファミリーをお引き受けいただ
いたご家族のみなさま、この場をお借
りしてお礼を申し上げます。

世界大戦中にフィリピンに派遣され
た神父様とマニラの聖母被昇天学院
との出会いがきっかけとなり、フィリ
ピン管区の全面的な寄付によって設
立され、この研修プログラムは
1996年から続いている。



C



E



D





つながつて「生きる」
ことに向き合う

学院長の お話

Sr. 宮本 恵子



祈りなさい。どんなことにも感謝しないで。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。」（イテサロニケ5章16節）

祈りなさい。どんなことにも感謝しないで。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。」(イテサロニケ5:16～18)

聖歌にもなつて親しまれているこの聖パウロの言葉は口ずさみやすく私にとって希望、励まし、力を与えてくれる聖書のことばのひとつでもあります。喜ぶ、祈る、感謝する。これらのこととは人が生きる限り日常生活の中で当たり前のようにあります。

う頻繁にあるわけがないからです。しかし、日々の生活を振り返ってみると困難を乗り越えて体験する喜びは(人に、神さまに)支えられていたことに気づき、祈っていたみたいの方々とのつながりに感謝することは結構あります。許される、生かされる、愛される喜びは表面的にはなく心の奥深い喜びとなり、自分だけのことではなく、他者との関わりやつながりがあつて生まれ、広がっていくように思います。

先日、修道生活・奉獻生活60周年を迎えた一人のシスターの記念のミサが高松修道院でありました。47

感謝と喜びの祈り、苦しみと悲しみの涙の祈りによつて喜びに変へられたことがあつたはずです。神様だけが全てご存知でしょう。60年の間にシステムを通して示された「神と共ににある喜び」に魅せられた100人以上の友人、知人で修道院の聖堂はあふれ、まさに喜びでながつた大きな家族のようでした大変驚いたことに、出席された方の中にはシステムと40年前に出会ったというかたの青年やご婦人方もおられました。システムはただ「ありがとうございます」とうけつけてこられていました。また父ケ崎でお世話をになつたというかたの青年やご婦人方もおられました。システムはただ「ありがとうございます」とう

ます「喜びは心の内から輝き出る神秘であり、眞の光です。」「神への信頼は最上の祈りです。」と、喜び、祈り、感謝する。聖母被昇天学院で「誠実、隣人愛、喜び」を学ぶ子供たちはその秘訣を知っているのではないでしょうか。混沌とした現代社会、命を脅かす様々な危機がある世界にあって、命や社会と向き合って「生きる」教育が問われています。眞実に向き合うこと、交わることが少なくなつていく情報社会にあって、人との関わり、つながりを大切にし、人生の強い軸となる生き方の秘訣に日々気づいていきたいと思います。

謝の思いも湧いてくるでしょう。た
だ、ここで見落としてはいけないこ
とは「いつも、絶えず、どんなことに

年前に遠いスペインから宣教者として日本に派遣され、長い間聖母被昇天学院と歩みを共にされたシフ

繰り返され、顔はいつもの変わらぬ笑顔で輝いていました。



学校法人 聖母被昇天学院

〒 562-8543 大阪府箕面市如意谷 1-13-23
Tel.072-721-7680 (代)
<http://www.assumption.ed.jp>